

授業科目 NO. 606 多職種連携論

Interprofessional Work

授 業 の 形 態 : 講義
単位数 (時間数): 1 単位 (15 時間)
開講年次・学期: 3 年次・後期
必修・選択の別: 必修
キ ー ワ ー ド : 多職種連携、協働、専門性と意義

1 金沢医科大学看護学部への到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 習 目 標

- 1) 一般目標 (GIO)
多様な価値観をもち、様々な環境にある人々が安心して健康に生活することを支える看護職としての基礎力を修得することを目標に、多職種連携の必要性、目的と意義、方法を理解する。
- 2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。
 - (1) 多職種連携の必要性、目的と意義を説明できる。(①②③)。
 - (2) 保健・医療・福祉に携わる多職種の役割と専門性を説明できる。(①②③)
 - (3) 多職種連携における看護職の役割と専門性を説明できる。(①②③)
 - (4) 患者・家族を中心とした多職種連携の方法を説明できる。(①②③)

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	%
レポート	50%
グループワーク成果物と発表	30%
グループワークの参加度（自己・他者評価）	10%
その他（GWに必要な補足学習）	10%
合計	100%

（特記事項）

GWの前に補足学習の課題を出し、その内容を評価する。

グループワークの発表は、GWの成果物をジグソー式に発表することで評価する。

5 教育担当者

科目責任者：吉川 由希子

教 授	吉川 由希子（小児看護学）
准 教 授	橋本 智江（老年看護学）
准 教 授	寺西 敬子（公衆衛生看護学）
准 教 授	蘭 直美（在宅看護学）
講 師	三反崎 宏美（母性看護学）
助 教	西川 正志（医学教育学）
看 護 師	本多 幸江（看護部 入退院支援看護師）
M S W	高澤 亜矢（病院 主任ソーシャルワーカー）
非常勤講師	三輪 早苗（金城大学人間社会科学部社会福祉科：講師）
非常勤講師	佐藤 宏和（さとうクリニック：医師）
非常勤講師	寺口 尚人（訪問看護ステーション OHANA：看護師）

6 教育担当者の実務経験

担当教員は、看護師・保健師・助産師・医師・理学療法士・MSW のいずれかの実務経験を全員が有している。

7 教科書

指定しない。

8 推薦参考書

- ・埼玉県立大学編集、新しい IPW をまなぶ 利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携、中央法規、2022
- ・細田満和子、「チーム医療」とはなにか 患者・利用者本位のアプローチに向けて 第2版 日本看護協会出版会

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

- 1) 1 コマにつき、事前・事後学修として計 90 分程度必要です。
- 2) 理学療法士、作業療法士、介護福祉士などの医療や福祉にかかわる職種にはどのようなものがあるのか、調べて臨んでください。
- 3) 各科目群の講義での他職種連携の現状や課題の復習及びこれまでの実習ではどのような多職種連携がなされていたか整理して臨んでください。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

レポートについては担当教員のコメントを取りまとめたものを掲示します。

11 履修上の注意事項

- 1) グループワークを行うので、グループごとに計画的に事前準備を行い、各自責任をもって授業に参加してください。

12 オフィスアワー等

質問等がある場合は、e-mail で事前に約束してから、研究室にお越しください。

吉川 由希子：y-yukiko@kanazawa-med.ac.jp

橋本 智江：hashimo@kanazawa-med.ac.jp

寺西 敬子：k-tera@kanazawa-med.ac.jp

蘭 直美：ran@kanazawa-med.ac.jp

三反崎宏美：mitasaki@kanazawa-med.ac.jp

西川 正志：n-ma@kanazawa-med.ac.jp

第3学年

多職種連携論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	11月02日（月）	3	講義	ガイダンス 多職種連携の背景・目的・意義 多職種連携教育とは		小児看護学	吉川教授
後	2	11月2日（月）	4	演習	多職種連携に関わる人々と多職種連携・多職種連携教育	グループワーク	公衆衛生看護学、 小児看護学、老年 看護学、在宅看護 学、母性看護学・助 産学、医学教育学	寺西准教授,吉川教授,橋本准教授, 蘭准教授,三反崎講師,西川助教, 三輪非常勤講師
後	3	11月09日（月）	3	講義	地域につなぐ多職種連携(退院支援看護師・MSW・リハビリ 職)	レポート	看護部,医学教育学	高澤MSW,本多看護師, 西川助教
後	4	11月13日（金）	3	講義	地域で疾患を持ちながら生活する人を支える多職種連携	レポート		佐藤非常勤講師,寺口非常勤講師
後	5	11月16日（月）	3	講義	事例検討	グループワーク	公衆衛生看護学、 小児看護学、老年 看護学、在宅看護 学、母性看護学・助 産学、医学教育学	寺西准教授,吉川教授,橋本准教授, 蘭准教授,三反崎講師,西川助教
後	6(0.5)	11月16日（月）	4	講義	事例検討	グループワーク	公衆衛生看護学、 小児看護学、老年 看護学、在宅看護 学、母性看護学・助 産学、医学教育学	寺西准教授,吉川教授,橋本准教授, 蘭准教授,三反崎講師,西川助教
後	7	11月20日（金）	3	講義	事例検討	グループワーク	公衆衛生看護学、 小児看護学、老年 看護学、在宅看護 学、母性看護学・助 産学、医学教育学	寺西准教授,吉川教授,橋本准教授, 蘭准教授,三反崎講師,西川助教, 三輪非常勤講師
後	8	11月20日（金）	4	講義	事例検討	グループワーク、 プレゼンテーション レポート	公衆衛生看護学、 小児看護学、老年 看護学、在宅看護 学、母性看護学・助 産学、医学教育学	寺西准教授,吉川教授,橋本准教授, 蘭准教授,三反崎講師,西川助教